

ICT活用工事（ICT土工）計画書

チェック欄 ※実施項目に☑	施工プロセスの 段階	作業内容	採用する 技術番 号	技術番号・技術名
<input type="checkbox"/>	①3次元起工測量			1. 空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量 2. 地上型レーザーキャナーを用いた起工測量 3. TS等光波方式を用いた起工測量 4. TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量 5. RTK-GNSSを用いた起工測量 6. 無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた起工測量 7. 地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた起工測量 8. その他の3次元計測技術を用いた起工測量 [8. を選択した場合の技術名称：]
<input type="checkbox"/>	②3次元設計データ作成			※3次元出来形管理に用いる3次元設計データの作成であり、ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データは含まない。
<input type="checkbox"/>	③ICT建設機械による施工	<input type="checkbox"/> 掘削工 <input type="checkbox"/> 盛土工 <input type="checkbox"/> 路体盛土工 <input type="checkbox"/> 路床盛土工 <input type="checkbox"/> 法面整形工		1. 3次元マシンコントロール（ブルドーザ）技術 2. 3次元マシンコントロール（バックホウ）技術 3. 3次元マシンガイダンス（ブルドーザ）技術 4. 3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術 ※採用する機種及び活用作業工種・施工範囲（別途平面図等による）については、受注後の協議により決定する。 ※当該工事に含まれる左記作業の工種のいずれかで、ICT建設機械を活用すれば良い。
<input type="checkbox"/>	④3次元出来形管理等の施工管理	<input type="checkbox"/> 出来形 <input type="checkbox"/> 品質		1. 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理技術（経費補正適用） 2. 地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理技術（経費補正適用） 3. TS等光波方式を用いた出来形管理技術 4. TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理技術 5. RTK-GNSSを用いた出来形管理技術 6. 無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理技術（経費補正適用） 7. 地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理技術（経費補正適用） 8. その他の3次元計測技術を用いた出来形管理技術（経費補正適用） [8. を選択した場合の技術名称：] 9. TS・GNSSによる締固め回数管理技術（土工） 注4）品質管理をしない理由 []
<input type="checkbox"/>	⑤3次元データの納品			

注1）ICT活用工事の詳細については、「ICT活用工事（土工）試行要領」及び特記仕様書によるものとする。

注2）採用する技術番号欄には、複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。（「採用する技術番号」欄の記載例：「1」、「1, 3」）

注3）①、④において、「8. その他の…」を選択した場合は、その技術名称を記載すること。

注4）品質管理（締固め回数管理）をしない場合は、理由を記載すること。
（理由例：「掘削工のみのため。」「土質が頻繁に変わり、その都度試験施工を行うことが非効率であるため。」等）

注5）一部活用の場合は、下表にある5つのタイプいずれかを採用すること。

施工プロセス区分	ICT 全活用	ICT一部活用				
		タイプ①	タイプ②	タイプ③	タイプ④	タイプ⑤
①3次元起工測量	○	○	—	—	○	—
②3次元設計データ作成（必須）	○	○	○	○	○	○
③ICT建機による施工	○	○	○	○	—	—
④3次元出来形管理	○	—	○	—	○	○
⑤3次元データの納品（必須）	○	○	○	○	○	○